

# 失業認定申告書

1. 失業の認定を受けようとする期間中に、就職、就労または内職・手伝いをしましたか。	イ した 就職又は就労した日は○印、内職又は手伝いをした日は×印を右のカレンダーに記入してください。  ロ しない	月	1	2	3	4	5	6	7	月	1	2	3	4	5	6	7
			8	9	10	11	12	13	14		8	9	10	11	12	13	14
			15	16	17	18	19	20	21		15	16	17	18	19	20	21
			22	23	24	25	26	27	28		22	23	24	25	26	27	28
			29	30	31						29	30	31				
2. 内職または手伝いをして収入を得た人は、収入のあった日、その額(何日分か)などを記入してください。	収入のあった日	月	日	収入額	円	何日分の収入か	日分										
	収入のあった日	月	日	収入額	円	何日分の収入か	日分										
	収入のあった日	月	日	収入額	円	何日分の収入か	日分										
	収入のあった日	月	日	収入額	円	何日分の収入か	日分										
3. 失業の認定を受けようとする期間中に、求職活動をしましたか。																	
イ 求職活動をした	(1) 求職活動をどのような方法でしましたか。																
	求職活動の方法		活動日		利用した機関の名称				求職活動の内容								
	イ 公共職業安定所による職業相談、職業紹介等																
	ロ その他 (具体的に記載)																
	(2) (1)の求職活動以外で、事業所の求人に応募したことがある場合は、下欄に記入してください。																
	事業所名、部署		応募日	応募方法	職種	応募したきっかけ		応募の結果									
	(電話番号 )					イ 知人の紹介 ロ 新聞広告 ハ 就職情報誌 ニ インターネット ホ その他											
	事業所名、部署		応募日	応募方法	職種	応募したきっかけ						応募の結果					
	(電話番号 )					イ 知人の紹介 ロ 新聞広告 ハ 就職情報誌 ニ インターネット ホ その他											
ロ 求職活動をしなかった	(その理由を具体的に記載してください。)																
4. 今公共職業安定所から自分に適した仕事を紹介されれば、すぐに応じられますか。	イ 応じられる ロ 応じられない	ロに○した人は、その理由を記載してください。															
5. 就職もしくは自営した人又はその予定のある人は記入してください。	イ 就職	(1) 公共職業安定所紹介						(就職先事業所) 事業所名 所在地									
		(2) 地方公共団体又は職業紹介事業者紹介															
	(3) 自己就職																
	ロ 自営	月 日より就職(予定)															
		月 日より自営業開始(予定)						電話番号 ( )									
上記のとおり申告します。																	
年 月 日 堺市長様																	
氏名																	
*支給対象期間												*支給日数					
年 月 日 ～ 年 月 日												日					

申告内容に虚偽の申告をして、不正受給をするとそれ以降の手当が支給されないばかりでなく、不正受給した金額とさらに返還額の2倍の金額の納付が命ぜられ、また、詐欺罪等で処罰されることがあります。申告は正確にしてください。

**\*求職活動実績について**

○失業認定申告書の3欄には、雇用保険制度の趣旨に基づき、求職活動を行っている状況を具体的に確認するためのものです。失業の認定を受けようとする期間(失業認定期間。原則として前回の認定日から今回の認定日の前日まで)中に行った求職活動について具体的に記載してください。

○手当の支給を受けるためには、認定対象期間中に、原則として2回以上の求職活動の実績が必要になります。また、退職理由により給付制限を受けた場合はこの期間とその直後の認定対象期間をあわせて3回以上の求職活動の実績が必要です。

○ここでいう求職活動には単なる新聞、インターネット等の求人情報の閲覧や知人への紹介依頼は含まれません。